



地球環境を考え、「SDGs(持続可能な開発目標)」の理念に沿って、会社を運営していくことが重要となっています。

弊社は設立から一貫して世界共通の目標となっている資源のリサイクル、バイオマスの利活用等再生可能エネルギーの積極的導入をしてまいりました。

具体的には、平成22年11月の本稼働当初から本施設で扱うし尿・浄化槽汚泥は、農作物残渣や水産残渣と共にメタン発酵を行い、バイオガスを生産しています。生産されたバイオガスはガス発電で電力に、またガスボイラで温水にエネルギー変換されて、当施設で使う電気の一部や肥料の発酵を促す温水エネルギーとして利用しています。

また、生産された肥料は肥料登録(農水大臣)されていてバイオマス肥料として地元の農家をはじめ近隣市町の大地に還元されています。

おかげさまで弊社は令和2年7月に設立14周年を迎えることができました。新しい体制となりましたが、これからも時代の要請に応えた資源循環型施設としての役割を果たしてまいります。

三浦地域資源ユーズ株式会社

代表取締役社長 鈴木 金太郎